

宇都宮市立清原東小学校 第4学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている。」と回答した児童の割合は、市の平均を上回っている。保護者の学習に対する意識が高いことがうかがえる。学校でも、家庭学習の奨励を引き続き呼びかけていく。
- 「学校の宿題は、自分のためになっている。」と回答した児童の割合は、9割を超えている。学校から出された自主学習の課題に積極的に取り組む児童が多い。今後も、多方面の学習に目を向けられるよう、支援をしていく。
- 「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。」と回答した児童の割合は9割近い。児童の興味を引き出し、やる気をもたせる授業の展開を工夫する。
- 「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している。」と回答した児童の割合は8割近く、市の平均を上回っている。今後も授業で、グループでの話し合い活動を多く取り入れ、児童間の活発な意見交換ができるように指導を続けていく。
- 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。」と回答した児童の割合は9割を超えており、市の平均を上回っている。しかし、まだ全員ができていないというわけではないので、会話科などの時間を利用して、最後まで聞く態度の育成を図っていく。
- 「学校のきまりを守っている。」と回答した児童の割合は9割を超えており、市の平均を上回っているが、きまり自体を把握していない部分があるので、その場その場で個別指導や全体指導を行っていく。
- 「毎日朝食を食べている。」と回答した児童の割合は100%と高い。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている。」と回答した児童の割合を見ると、テストの得点の高い児童と低い児童との間で差が大きかった。学校の授業で課題に取り組ませる際に、時間や順序を指定することで、計画性をもった学習が行えるよう指導をしていく。
- 「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい。」と回答した児童の割合は、市の平均を下回っており、物事に対する興味や関心が薄いことがうかがえる。授業の調べ学習などで様々な調べ方を教えたり、自主学習を通して疑問に思ったことを積極的に調べる活動を取り入れたりしていく。
- 「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。」と回答した児童の割合は、市の平均を下回っている。体験活動や具体物の操作などを授業の導入時に取り入れることで、児童が興味をもって学習に取り組む態度を育てる。
- 「学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる。」と回答した児童の割合は9割に近いが、市の平均を下回っている。進んで働ける児童が多いので、意欲をもって仕事に取り組んでいる児童を意図的に紹介したり賞賛したりする場面を多くもつ。